

環境部会

花と緑で選手団迎えよう

しあわせの村テニスコートなど

生9一環 西隈 勝利

50年ぶりの兵庫国体やのじぎく兵庫大会の熱戦が繰り広げられたしあわせの村では、選手団が気持ちよくプレーが出来るように会場周辺に花一杯で飾り付けました。



花の飾り付けをする環境部会の皆さん

しあわせの村緑地運営課の依頼で、9月13、14の両日、環境部会の七園会、八園会、福祉と花の会、里山グループの4グループ約50名のメンバーが総数4,500鉢の花を植えました。マリーゴールド、コリウス、ポットマムなど8種類の花を記念の森、中央バス停前、テニスコート、運動広場の各花壇に植栽しました。

13日は雨まじりの天候にもかかわらず約1,000鉢を、14日は一転好天気にも恵まれ、残りの3,500鉢を一挙に植えました。さすが日頃植栽等のボランティア活動されたメンバーだけに、段取りも良く、作業の手も早く順調に植付けることが出来ました。



のじぎく兵庫国体承認

第0423号

皆さん、応援する人々の心を温かくし神戸の良き思い出になってくれればと願っています。

絵はがきなど完売 ふれあい広場は大盛況



メッセージボードは激励文でいっぱい

のじぎく兵庫大会が開かれた10月14日から3日間、総合運動公園前でグループわなどが中心になって「ふれあい広場」が催されました。全国の選手団の皆さんに阪神大震災支援のお礼と、復興した姿を見て頂こうと開かれました。わが担当した休憩所では、大会マスコット“はばたん”を大書したメッセージボード4枚を張り出し、選手への激励文を書いてもらいましたが、用意した3000枚のカードはなくなるほど。売店では神戸の観光地を手書きした絵はがきが人気上々で、発売2日で売り切れました。ステージでも男声合唱団、銭太鼓チームが出演しました。

赤司氏に市環境功労賞

環境学習の支援が受賞理由

「KOBEエコ市民フェスタ」が10月21日(土)しあわせの村たんぼの家で開かれ、元グループわ理事長、赤司松美氏ら市環境功労者4人、5団体、1企業が、矢田一郎神戸市長から表彰されました。

赤司氏の受賞理由は、神戸市シルバーカレッジに「ケナフの会」を立上げ里山、ビオトープの保全活動に取り組んだ。NPO法人グループわの代表としても、環境学習・イベントの支援を積極的に取り上げたほか、こうべ環境未来館の責任者として市の環境学習、啓発の場の拠点として運営に尽力したこと等が評価された結果です。



矢田神戸市長から表彰を受ける赤司さん

グループ紹介 ⑥

銀の匙

食5一環 辻 郁子

先日「銀の匙」を本年度の神戸市社会福祉大会で表彰します…という思いがけないお知らせが届きました。私達のささやかなボランティア活動を、このような形で認めて頂き、一同嬉しく思っています。

これらは神出自然教育園に来園する小、中学生や様々なグループの方々と共に、お豆腐やジャム作りをしています。この間は、病院内科級で学ぶ重いハンディを持つ子どもたちと、イチジクのジャムを作りました。自分では調理できませんが、イチジクに触れたり甘い香りを感じたりしていくうちに表情が豊かになり、手を動かそうとする様子に



お料理を前に和気藹々の銀の匙グループの皆さん

と和気藹々と活動する仲間存在とこのチームワークのよさが長続きの秘訣かなと思います。これからも「食」を通しての多くの方々との出会いを楽しみに歩んでいきます。

心揺さぶられるものがありました。例年開かれている「男の料理教室」でも、男子厨房に入るを目指す方々へのサポートを楽しくやっています。ときにどちらが先生やらと思われるベテランもおられて、どっきりしたりしますが…。8月にはシルバーカレッジに来られたアメリカのログバレー平和合唱団の方々に、日本

のヘルシー料理を作って大変喜んで頂きました。卒業して5年を迎えます。それぞれ持ち場

を見つけて和気藹々と活動する仲間存在とこのチームワークのよさが長続きの秘訣かなと思います。これからも「食」を通しての多くの方々との出会いを楽しみに歩んでいきます。